

## 【災害時の通信の確保を目的として「地域BWA」端末導入】

災害対策委員会 担当理事兼委員長／みさき薬局 北川 太郎

表題を読んで「なんのこと？」と思われた方が大半だと思います。

地域BWAとは、Broadband Wireless Access 地域広帯域移動無線アクセスシステムで、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイド（条件不利地域）の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システムです。

・・・「だから、なに？」と思われている方がまだ大半でしょう。

本会では災害時情報共有システムeST-aidを使用して、薬事センター（会営臨海薬局）と緊急医療救護所や区災害医療本部との通信の確保がかねてからの課題となっていました。他の連絡手段としてSNSを使用する事を考えても通信としてネット環境を使うために今後の5Gにも期待しつつ、防災に強い通信システムとして地域BWAを視野に入れていたところ、既に墨田区・葛飾区と地域BWA協定を結んでいる東京アンテナ工事株式会社様（三矢宏社長：東京都葛飾区東新小岩5-19-2）が昨年6月に江戸川区との協定を結んだことでより面として地域に強いWi-Fiであると確信し検討を重ねてきました。その後、東京アンテナ工事株式会社様は千葉県市川市との地域BWA協定を結び、市川から墨田区までの広範囲に地域BWA網を拡大しています。・・・「それで？」と思われている方がまだ大半ですね。

大晦日から元旦を迎える0時前後にネットが繋がらなくなったり、スマホの通信がダウンした。という経験はありませんか？「あけおめ」メールや携帯通話による通信の集中です。この状況が災害時の避難所や救護所でのネットが混雑した状況と同じ現象です。この現象は大手携帯会社が使用する周波数帯に通信が集中するため、一つの自治体で一つの事業者しか許可されていない地域BWAの周波数帯は大手携帯会社が使用する周波数帯とは異なり通信が集中し混雑する事を防げます。

・・・「なるほど～」と思いはじめましたか？

そこで江戸薬では災害時の通信確保のためのBWA端末に目を付けました。今回導入した地域BWA端末は普段は通常のWi-Fi端末として使用できます。

事務局や臨海薬局、医師会急病診療所などに常備し使用します。コロナ禍のため、理事会・運営委員会がリモート会議になっています。リモート会議の端末としても使用することが可能です。

・・・「無駄が無い」でしょ。

2011年の東日本大震災をきっかけに江戸川区薬剤師会の災害対策を進めて参りました。あれから10年です。また一つ、全国の薬剤師会に先駆けた取り組みを始めることが出来ました。



江戸薬と東京アンテナ工事で  
がっちりスクラム！



この端末1台で15台のデバイスが  
繋がります